

全校道徳 指導案

日 時： 平成30年11月 7日（水）

5校時 13:25～14:15

場 所： 八丈町立三原中学校 2階多目的ホール

対 象： 全校生徒（1年8名、2年10名、3年10名）

指導者： 小泉 雅一、干田 美鈴

氏家 正博、美濃部 明日香

- 1 主題名 B 主として人との関わりに関すること [相互理解、寛容]
- 2 資料名 『人々の善意や支えに応えたい』（私たちの道徳82～85ページ）
- 3 ねらい 感謝の心を表し、互いに届け合うことで、温かく、潤いのある人間関係が築かれることに気づき、小さなことがらに対しても自然に「ありがとう」が表現できる心を育む。
- 4 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝えてもらってうれしかった『ありがとう』」をカードに書く。 →全体で共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいについて、考えやすくする。 ※カードは後日掲示する。 	②
展開1 20分	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による寸劇「『ありがとう』が言えないNGシーン」を見る。 ・『『ありがとう』が言えたOKシーン」をグループで考える。 →全体で共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・寸劇を見て、感謝の心を表すことの必要性を感じ取らせたい。 ・OKシーンを考えさせることで、どうしたら感謝の心を表すことができるのか考えさせたい。 	③ ② ③
展開2 20分	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の学校生活でできることを考える。 →グループで共有 →全体で共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の学校生活でできることを考え、共有することで、主体的な学びにつなげたい。 	④
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・詩「いっぱい言っとけばよかった」を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝の心を表し、互いに届け合うことを大切にしようという教師の願いを伝える。 	①

- 5 評価
 - ①自分の考えを深めることができたか。[ワークシート]
 - ②自分のことを真剣に考えたり、自分の経験を思い出したりして、自分について理解を深めることができたか。[ワークシート]
 - ③いろいろな見方・考え方をしたり、触れたりすることができたか。[ワークシート・観察]
 - ④「これから～していきたい」という気持ちをふくらませることができたか。[ワークシート・観察]